

## 「あきた未来総合戦略」重点プロジェクトの概要

2月号でご紹介しました「あきた未来総合戦略」は、「人口減少の克服」と「秋田の創生」の実現のため、4つの政策分野ごとに基本目標を定め、具体的な取組と数値目標を掲げています。

本号では、その中でも特に、新たな視点からアプローチする取組として基幹部分に位置づけている重点プロジェクトの概要についてご紹介します。

なお、詳細については、秋田県の公式ホームページ「美の国あきたネット」をご覧ください。

【ホームページ】 <http://www.pref.akita.lg.jp>

【お問い合わせ先】 秋田県企画振興部 総合政策課 ☎018-860-1217

### ■「基本目標1：産業振興による仕事づくり」に関連する重点プロジェクト

<p>① 航空機産業の振興と専門人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一貫工程を受注するための産業インフラ導入支援</li> <li>○ 特殊工程等に係る認証取得支援</li> <li>○ 工業系高校等への専門的カリキュラム導入など</li> </ul>	<p>② 新エネルギー産業の大規模展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 洋上風力発電の民間による事業化支援</li> <li>○ 風力発電事業者のメンテナンス拠点等の誘致など</li> </ul>
<p>③ ICT専門人材育成と高度ICT企業の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業で工業高校生を受け入れて行う長期間の技術研修の実施</li> <li>○ 高度な技術力を持つICT企業の誘致 など</li> </ul>	<p>④ クールジャパン戦略に基づく幅広い県産品の輸出の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋田の「食」や伝統的工芸品の海外展開支援</li> <li>○ 海外で展開している店舗を活用した県産食材の提供と観光PR など</li> </ul>
<p>⑤ 米依存農業からの脱却</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ JA出資型農業法人等の育成</li> <li>○ 園芸メガ団地やネットワーク型団地等の整備</li> <li>○ 首都圏等におけるプロモーション活動の展開など</li> </ul>	<p>⑥ 「ウッドファーストあきた※」の推進による林業雇用の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民運動等による県産材の需要の喚起・拡大</li> <li>○ 林業大学校等における人材育成 など</li> </ul> <p>※ウッドファーストあきた：県産材を優先的に利用していこうとする取組</p>
<p>⑦ ICTの活用と外国人向けの新しい旅行プログラムの開発による海外からの誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光・宿泊施設等へのWi-Fi導入支援、英語コンシェルジュの配置</li> <li>○ 海外の旅行サイトでの情報発信と旅行プログラムの開発 など</li> </ul>	<p>⑧ 秋田の将来を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県立大学の学科再編による専門人材育成</li> <li>○ ビジネスの場面を想定したイングリッシュキャンプの実施 など</li> </ul>

### 【主な重要業績評価指標(KPI)】

- |   |   |
|---|---|
| ○ 航空機産業の製造品出荷額<br>11億円(H26) → 54億円(H31)         | ○ 風力発電の導入量<br>21万kW(H26) → 56万kW(H31)                                     |
| ○ 情報関連産業の自社商品開発企業数<br>5社(H26) → 34社(H31)        | ○ 海外展開に新たに取り組む企業数<br>43社(5か年分の累計)   |
| ○ 主な園芸作物の販売額<br>13,470百万円(H26) → 21,600百万円(H31) | ○ 素材(丸太)生産量<br>1,030千 <sup>m</sup> (H23-25平均) → 1,380千 <sup>m</sup> (H31) |
| ○ 外国人延べ宿泊者数<br>41,510人(H26) → 100,000人(H31)     | ○ 国際交流を実施している高校数(公立)<br>29校(H26) → 49校(H31)                               |

## ■「基本目標2：移住・定住対策」に関連する重点プロジェクト

### ① 移住者サポートの充実

- 市町村移住相談体制の強化、生活サポートメニューの充実
- 定住サポーターの養成、移住者間ネットワークの構築支援 など

### ② 市町村等と連携した空き家の利活用促進

- 不動産業界等と連携し、全県の活用可能な空き家情報を提供
- 空き家バンク未設置市町村への働きかけ強化、登録物件の拡大 など

### ③ 奨学金返還助成制度の創設

- 平成29年4月1日以降に県内就職する者(公務員等を除く。)に対し、奨学金返還額を助成  
対象：新卒者及びAターン者  
内容：④大卒は3年間、短大卒及び高校卒等は2年間、奨学金返還額の2/3を助成  
⑤県が指定する特定業種の企業へ就職する大卒等には、上記の期間で奨学金返還額の10/10を助成

#### 【主な重要業績評価指標(KPI)】

- 市町村定住サポーターの人数 25人(5か年分の累計)
- 空き家を活用して移住した世帯数 110世帯(5か年分の累計)
- 奨学金返還助成者数 2,200人(5か年分の累計)

## ■「基本目標3：少子化対策」に関連する重点プロジェクト

### ① 全国トップクラスの子育て助成制度

#### 【保育料助成】

- 現行制度に加え、新たに第3子以降の子どもが生まれた場合、一定の所得制限の下で、第2子及び第3子以降の子どもの保育料の全額を助成

#### 【医療費助成】

- 助成対象を現行の「小学生まで」から「中学生まで」に拡大

### ② 子育て世帯に対する住宅支援

- 多子世帯の住宅や空き家取得後のリフォームを対象に、現行の住宅リフォーム制度(対象工事費の10%、限度額15万円の補助)の補助率・限度額を拡大

### ③ 多子世帯の負担のピークに合わせた奨学金制度の創設

- 子ども3人以上の多子世帯を対象とする新たな奨学金制度を創設

#### 【主な重要業績評価指標(KPI)】

- 出生数に占める第3子以降の割合 16%(H26) → 21%(H31)
- 子育てリフォーム件数 920件(5か年分の累計)

## ■「基本目標4：新たな地域社会の形成」に関連する重点プロジェクト

### ① 女性と若者の活躍推進

- 女性の活躍に向けた行動計画策定促進のためのポータルサイト、ハンドブックの作成
- 若者のネットワーク構築や自主的企画による地域活性化の取組への支援 など

### ② 高齢者が元気で活躍できる地域づくり

- 「秋田版CCRC構想」推進に向けた住み替えニーズ等の調査
- シンポジウムの開催、各地域でのCCRCの推進 など

#### 【主な重要業績評価指標(KPI)】

- 女性の管理職登用率等を盛り込んだ行動計画を策定した300人以下の事業所数 200事業所(5か年分の累計)
- CCRCの機能を有する住まいへの入居世帯数 168世帯(5か年分の累計)